

社会福祉施設入所者の健康管理

SGLT2阻害薬服用中の方のシックデイの対応について

シックデイとは



SGLT2阻害薬を処方されている糖尿病や心不全、腎臓病の方が、かぜや新型コロナウイルスなどの感染症で発熱、嘔吐、下痢、食欲不振になったりするときを「**シックデイ**（体調不良の日）」といいます。

シックデイの際は、重篤になると昏睡に陥る場合もあるため注意が必要です。シックデイの際の治療や対応のポイントを知り、普段から主治医と相談しておきましょう。

シックデイの SGLT2阻害薬の休薬について

いつもより食事や水分量が少ない状態で服用すると、脱水や低血糖を引き起こしやすくなるため、休薬が必要となる場合があります。

普段から薬の種類を把握しておくとともに、**主治医の指示のもと服薬管理**を行いましょう。

SGLT2阻害薬の1例

スーグラ・カナグル
ジャディアンス
フォシーガ
デベルザ・ルセフィ
アプルウェイ 等

シックデイの 入所者への対応のポイント

1. **主治医に早めに連絡し、相談する。** 現在の症状や水分・食事を伝え、指示をもらう。
2. **可能な方は**いつもよりこまめに**血糖測定を行う。**
3. **脱水予防**のために、こまめに水分（1日1ℓ以上）摂取を促す。
4. **食事は絶食せず、**口当たりがよく消化のよいものを取り、いつもの摂取カロリーを維持する。特に炭水化物や電解質（ナトリウム等の塩分）を補給する。



※ 消化のよい炭水化物 うどん、おかゆ、おじやなど
※ 電解質の補給 スープやみそ汁、経口保水液や野菜ジュースなど（スポーツドリンクは糖分が多いので飲みすぎには注意しましょう。）

